

遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する
法律に規定する第一種使用規程承認の申請に係る意見

1 第一種使用規程の承認の申請者、遺伝子組換え生物等の種類の名称及び第一種使用等の内容

(1) 名称

紫外線 UVB 感受性イネ (*OsPHR*, *Oryza sativa* L.) (AS-D)

紫外線 UVB 抵抗性イネ (*OsPHR*, *Oryza sativa* L.) (S-C)

(2) 内容

第一種使用等の内容：隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為

(3) 申請者

国立大学法人 東北大学 総長 里見 進

2 当該申請に対する意見

1 (1) に係る申請については、平成 21 年 11 月 2 日付けで承認された申請内容（以下、「前回申請」という。）について、使用期間の延長等を申請するものであり、以下の点についての確認及び審査を行った。本申請に係る意見について、以下に述べる。

(1) 期間の延長について

自然災害（平成 22 年度の記録的な猛暑、平成 23 年度の東日本大震災、台風等）の影響により、データの蓄積が不十分であるため、前回申請期間と合わせ、概ね 5 年間の期間を確保し、統計的なデータ処理を行うというもの。特に東日本大震災においては、隔離ほ場の機能を失うような影響は見られなかったものの、解析機器の修理等に時間がかかり、十分なデータの集約ができなかったとのことであり、さらなるデータの蓄積のための期間延長を行うという申請理由については、特段の意見はなかった。

(2) 隔離ほ場及び水田におけるイネの植付け配置箇所の変更について

前回申請においては、隔離ほ場内の砂質水田、黒ボク水田を利用予定であったが、本申請においては、水田の保水力低下が見られた黒ボク水田を用いず、砂質水田のみを使用することとしたもの。また、水田 5 a (20m×25m) の一角を利用した場合、①水田内で植付けを行わない箇所に雑草が繁茂するため、除草作業を要すること、②より詳細な交雑試験調査のため、試験区の組換えイネ栽培箇所の近傍に非組換えイネを植え付けた方が効率的であること、③組換え

イネ栽培箇所の周囲に非組換えイネを植え付けることで、当該水田区画からの花粉の飛散が抑えられることが期待されることから、非組換えイネのみの植付け本数を増やし、砂質水田（25 m x 20 m）全てを利用することにしたもの。なお、植え付ける組換えイネの本数に変更はないとしている。

これらの理由から、配置箇所等を変更した場合であっても、前回申請における生物多様性影響が生じるおそれはないとする結論に、影響を与えるものではないと判断された。

（3）東日本大震災の影響

東日本大震災による隔離ほ場施設への影響に関しては、施設及び栽培への直接的な影響は無かったとのことであり、震災により使用できなくなった設備（ほ場、特定網室、貯水池、ポンプ等）、機器類はなかったことが確認されている。また、栽培を行っている試験水田においても、水はけ等に影響がなかったことが確認されている。さらに、隔離ほ場外の東側の崖においても、崖崩れ等は起こらなかった。

このように、震災後も施設の機能は損なわれていないことから、当該隔離ほ場において、試験を継続することは妥当であると判断した。

（4）生物多様性影響評価書を踏まえた結論

以上を踏まえ、本組換えイネを第一種使用規程に従って使用した場合に生物多様性影響が生じるおそれはないとした生物多様性影響評価書の結論は妥当であると判断した。

3 意見を聴取した学識経験者

(敬称略 50音順)

氏名	現職	専門分野
いさぎ ゆうじ 井 鷲 裕 司	国立大学法人 京都大学大学院 農学研究科 教授	生態学
いとう もとみ 伊 藤 元 己	国立大学法人 東京大学大学院 総合文化研究 科 教授	保全生態学
おおさわ りょう 大 澤 良	国立大学法人 筑波大学大学院 生命環境科学 研究科 教授	植物育種学
かまだ ひろし 鎌 田 博	国立大学法人 筑波大学大学院 生命環境科学 研究科 教授	植物生理学
くらた のり 倉 田 のり	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機 構 国立遺伝学研究所 教授	植物遺伝学
こめだ よしぶみ 米 田 好 文	国立大学法人 東京大学大学院 理学系研究科 教授	植物分子遺伝学
しのぎ かずこ 篠 崎 和 子	国立大学法人 東京大学大学院 農学生命科学 研究科 教授	植物生理学
しのはら けんじ 篠 原 健 司	独立行政法人 森林総合研究所 研究コーディネータ	植物育種学
たけだ かずよし 武 田 和 義	国立大学法人 岡山大学 名誉教授	植物育種学
たなか ひろし 田 中 宥 司	新潟薬科大学 応用生命科学部 教授	植物育種学
なんば しげとう 難 波 成 任	国立大学法人 東京大学大学院 農学生命科学 研究科 教授	植物病理学
ふじい よしはる 藤 井 義 晴	国立大学法人 東京農工大学大学院 農学研究院 国際環境農学部門 教授	有機化学 雑草学